

聖書の集い（第2回）

2014年6月11日

古本 靖久

- 1、聖歌 540番 「やさしき息吹の」
- 2、お祈り
- 3、聖書 「マタイによる福音書 7章1節～6節」
(新約聖書 11 ページ)

4、今日の内容

① 境界線のある親になる



「人を裁くな」、そのタイトルが示すように、わたしたちは他人の欠点にはよく気が付きます。ちょっとした子どもの動作にいら立ち、「どうしてこうしてくれないの」と嘆くこともあるかもしれません。ですが、自分自身のことになると、わたしたちは驚くほど寛容なのです。寛容といえば聞こえがよいのですが、自分に対しては多少「甘い」部分に気が付くこともあるのではないのでしょうか。

さて、子育てをする時に、まず気を付けないといけないことがあります。それは、親としてコントロールしないとイケないのは、子どもの行動ではなく、親自身の行動だということです。わたしたちは子どもの行動を変えるのに、大変苦労します。でもどうでしょう。自分自身の行動であれば、いくらでも変えることができるのではないのでしょうか。子どもにどう接して、どのような見本を見せるのか、子どもの目にある「おが屑」を取り除く前に、まずは「自分の目の丸太」を取り除くことから始めていきましょう。

わたしたちにはこのような経験があります。子どもに何かをさせようとするときに、どんなに説明し、口うるさく言って聞かせても、実際に手足を動かさなければなかなか身に付きません。しかし、子どもに手本を見せた後に実際に行動させると、簡単に身につくことがあります。自分の子どもの頃を思い出してみましょう。自転車に初めて乗った日のことを覚えていますか。わたしはもう40年近く前なので忘れてしまいましたが、誰かに右手と左手、それからペダルのこぎ方を口で説明されて、乗ることができるようになった人はいますか。それで乗れたらすごいと思います。ほとんどの人は誰かが乗っている姿を見て、真似して、自分でやってみる。そこには良いお手本が必要なのです。お手本が何度も転んでひざをすりむいていたら、話にならないのです。

② 種蒔きと刈り取りの法則

さて、ここから本題に入っていきます。今年参考にするテキストには、「子どもに教えるべき境界線の 10 の法則」というものを取り扱っていきます。「境界線」というと子どもと壁を作ってしまうような、マイナスのイメージをわたしは持ってしまいましたが、本を読み進めていくと必ずしもそうでもないようです。聖書を一か所読みます。

思い違いをしてはいけません。神は、人から侮られることはありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取ることになるのです。自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、霊に蒔く者は、霊から永遠の命を刈り取ります。(ガラテヤの信徒への手紙 6 章 7~8 節)

わたしたちは、人生の現実の中で、ある程度ちゃんと準備しておけばよい結果が得られるし、サボってしまったら悪い結果をもたらすことを知っています。たまに手を抜いて成功したとしても、たいていその次にはひどい目に合うことも経験済みです。わたしはどこか、要領だけで生きてきたところがあって、「正直者は馬鹿を見る」と口癖のように言っていた時期もありました。でも今は違います。やっぱり良い種を蒔いたら、良いものを刈り取ることができるのです。

子どもに対して、「出かけるから早くかたづけをしなさい」ということ、わたしの家では日常茶飯事です。行く時間になっても全く部屋が片付いてなかったらどうしますか。小言を言う、帰ったら片づけることを約束する、無視する、怒鳴る、しょうがないから親が片づける。いろいろあるでしょう。でもこういう対応はどうでしょうか。最初に「何時までに片づけなかったら連れて行きませんよ」と約束し、実際に片付かなかつたら出かけるのを取りやめる。

正直わたしにはできそうもありません。ですがこのやり方にヒントを見いだすことができると思います。つまり子どもの行動が、自分にはうれしくない結果をもたらしてしまう、ということを経験させることで、子どもに自分から変化するようにうながすのです。そしてここで大事なことは、子どもには選択の自由を与えて、本人に選ばせることだそうです。片づけるかどうかは子どもが決めること。それによって出かけられないとしても、それは子どもが決めたことであるというように。片づけないでただガミガミと叱られたら、子どもは「うるさいなあ」と反抗します。しかし片づけなかったために、出かけられないという結果をもたらしたときには、「何故片づけなかったのだろう」と自分に目が行くのです。

わたしたちが子育てをするとき、いつも感じていたいことは、子どもが自分の問題に取り組むためには、今、わたしたちは何をすべきか、ということなのだと思います。子どもたちが真剣に自分の問題として考えていくことができるように、わたしたちは助けていきたいものです。

<テキストのご紹介>

「聖書に学ぶ 子育てコーチング」

ヘンリー・クラウド、ジョン・タウンゼント共著、中村佐知訳

発行：あめんどう 定価 2,000 円＋税

<ホームページのご紹介>

「桃山基督教会ホームページ」

<http://momoyama.hannnari.com/>

(ももやまドットはんなりドットコム) ※nは3つ

トップページ → 右上の「メッセージ」をクリック

→ 聖書の集いの該当箇所をクリック

<教会学校・はとぼっぽクラスのご紹介>

「教会学校」

毎週日曜日 午前9時30分～午前10時

「はとぼっぽクラス」

毎月第2日曜日 午前10時～正午

<大人の礼拝のご案内>

「大人の礼拝」

毎週日曜日 午前10時30分～正午

どなたでもお気軽にご参加ください